

【科目名】	理学療法評価法Ⅲ	専門分野 (1単位)	【講師名】	高村 真司(理学療法士)、渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:00 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	理学療法の対象となる基本的な身体機能面について理解を深めながら、検査・測定方の意義・目的を理解し、原則的方法を実践する事が出来る。また、それぞれの方法・結果および関連付けた分析・解釈の重要性や臨床での応用の必要性についても考えていく。						
前提知識	筋・神経系についての生理学・解剖学の基礎知識。 理学療法評価を行う意義についての基礎知識。 人の体を扱うという心構え。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	筋緊張について説明・検査が出来る。 感覚・反射の異常についての生理学的説明が出来る。 各検査・測定の流れを遂行出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10		90			
	実施時期	平時		当科目終了時			
	補足			道具の操作・管理も含む			
	関心・意欲	○		○			
	知識・理解			○			
	思考・推論			○			
	実践・表現			○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月19日	1	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価①	片麻痺、痙性、Br.stageの概念	渡辺
4月19日	2	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価②	Brunnstromについて、連合反応、分離運動	渡辺
4月26日	3	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価③	12段階式片麻痺機能検査	渡辺
5月17日	4	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価④	その他の脳卒中機能検査(SIAS、その他)	渡辺
5月24日	5	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価⑤	片麻痺機能検査の流れと実践①	渡辺
5月31日	6	中枢神経系の検査(Br.stage)の意義と評価⑥	片麻痺機能検査の流れと実践②	渡辺
6月4日	7	確認・演習(復習)	片麻痺機能検査の確認	渡辺
6月7日	8	反射検査の意義と評価①	腱反射(腱紡錘、筋紡錘、脊髄反射)	高村
6月11日	9	反射検査の意義と評価②	病的反射(錘体路徴候)	高村
6月11日	10	感覚検査の意義と評価①	表在感覚、デルマトーム、上行性伝導路、深部感覚、上行性伝導路	高村
6月18日	11	感覚検査の意義と評価②	表在感覚・深部感覚の評価の流れと実践	高村
6月18日	12	筋緊張検査の意義と評価①	筋緊張(トーンス、トーン)、錘体路症状、錘体外路症状、被動性筋緊張検査、姿勢時筋緊張検査、Ashworth法	高村
6月25日	13	筋緊張検査の意義と評価②	筋緊張検査の評価の流れと実践	高村
7月2日	14	演習(復習) 実技試験オリエンテーション		高村
7月19日	15	まとめと評価(実技)	表在感覚検査、深部感覚検査、反射検査、片麻痺機能検査をそれぞれ適切な流れを把握し、対象者への説明及びリスク管理への配慮を行いながら、安全かつスムーズな評価の実践。	科目担当
教科書 参考書	理学療法評価学 改訂第5版 松澤正・江口勝彦著			
授業に必要な物	基本的に動きやすい服装を着用し、指示があった場合はケーシーを着用すること。			
備考	授業以外でも自主的に練習を行うこと。			

【科目名】	理学療法各論Ⅰ(中枢性疾患)	専門分野(2単位)	【講師名】	高村 真司(理学療法士)、渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間(2時間 23回)		【時間帯】	9:00~12:10(他時間割参照)			
授業内容・目標	中枢神経系の働きや役割を理解し、脳血管障害の発生機序と病態の理解を深める。また、脳血管疾患に対する実際のリハビリテーションの流れを把握し、評価・治療等の知識を獲得する。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖学・生理学に関する基礎知識。 動作を理解するための運動学(筋・骨格)の基礎知識。 1年次に学んだ評価・治療の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	中枢神経系の構造と機能を理解し、それをもとに脳の構造と機能を説明出来る。 脳血管障害の発生機序と病態を理解し、障害像を説明できる。 脳血管障害に対する評価・治療の流れを説明することができる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	60				30
	実施時期	平時	当科目終了時				10回終了時(1回)
	補足	質疑応答など	障害像など				解剖・生理学
	関心・意欲	○	○				○
	知識・理解		○				○
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	4月5日	1	中枢神経系理学療法について	高村
	4月5日	2	(Lecture I-1) 中枢神経系理学療法の基礎知識	高村
	4月19日	3	(Lecture I-2) 運動と感覚の中枢機能と構造	高村
	4月19日	4	(Lecture II-16) 脳の構造と機能(1)-大脳基底核	高村
	4月26日	5	(Lecture II-17) 脳の構造と機能(2)-小脳	高村
	4月26日	6	(Lecture II-18) 脳の構造と機能(3)-脳幹	高村
	5月10日	7	(Lecture I-3) 脳損傷の定義と病態	高村
	5月10日	8	(Lecture I-4) 脳の損傷とその回復	高村
	5月17日	9	(Lecture I-5) 脳血管障害における医学管理	高村
	5月17日	10	(Lecture I-7) 脳血管障害後片麻痺患者の運動障害の特徴	高村
	5月24日	11	前半のまとめと確認	高村
	5月24日	12	(Lecture I-6) 脳血管障害におけるリハビリテーションの流れ	高村
	5月31日	13	(Lecture I-8) 脳血管障害後片麻痺に対する評価(1)-impairment	渡辺
	5月31日	14	(Lecture I-8) 脳血管障害後片麻痺に対する評価(2)-impairment	渡辺
	6月7日	15	(Lecture I-9) 脳血管障害後片麻痺に対する評価(3)-activity limitation	渡辺
	6月7日	16	(Lecture I-14) 高次機能障害と理学療法-pusher現象と半側空間無視	渡辺
	6月14日	17	(Lecture I-10) 脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(1)	渡辺
	6月14日	18	(Lecture I-11) 脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(2)	渡辺
	6月21日	19	(Lecture I-12) 脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(3)	渡辺
	6月21日	20	(Lecture I-13) 脳血管障害における合併症	渡辺
	6月28日	21	(Lecture I-15) 脳血管障害における理学療法の実践	渡辺
	6月28日	22	中枢神経系理学療法について 再確認	渡辺
	7月12日	23	まとめと評価	渡辺
教科書 参考書	理学療法テキスト 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法Ⅰ・Ⅱ(中山書店) 病気がみえるVol.7 脳・神経(MEDIC MEDIA)			
授業に必要な物	座学ではPC、プロジェクターを準備する。 実技では動きやすい格好。指定があったときには、ケーシー(白衣)着用すること。			
備考	わからない事があった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心がけること。			

【科目名】	物理療法Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】	佐藤 大樹(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:40 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	各種物理療法の特徴及び生理学的効果等について、グループで調べ理解・発表することができる。						
前提知識	痛みに対する生理的知識 筋組織についての生理学的知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各種物理療法の特徴及び生理学的効果等を理解し、適切かつ安全に実施できるようになる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	20	30	20		30	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○	○	○		○	
	思考・推論		○			○	
実践・表現			○		○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月2日	1	物理療法概要	各種物理療法の概要、事前学習、国試問題	佐藤
4月2日	2	発表準備(調べ学習)	発表準備(調べ学習)	佐藤
4月9日	3	発表準備(調べ学習)	発表準備(調べ学習)	佐藤
4月9日	4	発表準備(資料作成・体験)	発表準備(資料作成・体験)	佐藤
4月16日	5	発表準備(資料作成・体験)	発表準備(資料作成・体験)	佐藤
4月23日	6	①温熱療法 - ホットパック、パラフィン浴	温熱の作用、比熱、熱伝導率	佐藤
5月7日	7	②電気療法(高周波療法)-極超短波療法と超短波療法	逆二乗の法則、ランバートの法則、到達深度	佐藤
5月14日	8	③電気療法(高周波療法)-超音波療法	ビーム不均等率BNR、有効照射面積ERA、周波数と到達深度、連続波とパルス波	佐藤
5月21日	9	④電気療法(低周波)-低周波療法	ゲートコントロール理論、モーターポイント、TENS、TES、FES	佐藤
5月23日	10	⑤光線療法-紫外線、赤外線、レーザー	波長による光線の分類、波長と周波数の関係	佐藤
5月28日	11	⑥寒冷療法	血管収縮・拡張、神経伝導速度、乱調反応、RICE	佐藤
5月30日	12	⑦水治療法(水中運動療法)	浮力と水深、静水圧、心肺機能、不感温度	佐藤
6月6日	13	⑧水治療法(部分浴、全身浴)	浴温度の作用、過流浴、気泡浴、温冷交代浴	佐藤
6月13日	14	⑨牽引療法	頸椎牽引と腰椎牽引、牽引力、牽引角度と肢位、直達牽引と介達牽引	佐藤
6月20日	15	まとめと評価		佐藤
教科書 参考書	理学療法ハンドブック、他			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	臨床運動学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	高村 真司(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	13:00 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	身体運動のメカニズムに関する基礎知識を習得し、運動について理解することが出来る。						
前提知識	各関節運動の運動学の基礎知識 解剖学・生理学の基礎知識 一年次の運動療法学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	姿勢のメカニズムについて理解する事が出来る。 歩行について、動作の相分けが出来、各運動について理解出来る。						
成績評価 基準と方法	配分(%)	意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	10	10	80			10	
	実施時期	平時	当科目終了時			当科目内	
	補足	質疑応答など	障害後など			グループディスカッション	
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
	実践・表現					○	

授業計画				
回数	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月2日	1	体幹の運動学①	脊椎、椎間板、胸郭、呼吸、体幹の筋群	高村
4月2日	2	体幹の運動学②		高村
4月9日	3	顔面と頭部の運動学	顎関節、咀嚼、表情筋	高村
4月16日	4	姿勢と重心、反射運動①	姿勢、体位、構え、姿勢制御、反射階層理論、システム理論、重心支持基底面、バランス、モーメント、安定性限界	高村
4月16日	5	姿勢と重心、反射運動②		高村
5月7日	6	姿勢の分類、重心動揺①	座位姿勢、立位姿勢、安定性、重心線、重心動揺、抗重力筋、関節モーメント	高村
5月7日	7	姿勢の分類、重心動揺②		高村
5月14日	8	姿勢観察・異常姿勢①	グループディスカッション① 姿勢観察の実際	高村
5月21日	9	姿勢観察・異常姿勢②		高村
5月21日	10	動作分析(座位・立ち上がり・立位)①	座位～立ち上がり～立位動作における各関節の動き、及び筋活動と重心の軌跡	高村
5月28日	11	動作分析(座位・立ち上がり・立位)②		高村
6月4日	12	動作分析(座位・立ち上がり・立位)③	グループディスカッション② 座位～立ち上がり～立位動作観察の実際	高村
6月4日	13	動作分析(座位・立ち上がり・立位)④		高村
6月11日	14	歩行のメカニズム①	歩行周期、重心移動、筋活動、床反力、歩行速度、歩行率	高村
6月18日	15	歩行のメカニズム②		高村
6月25日	16	歩行の運動学・力学的分析①	歩行動作における各関節の動き、及び筋活動と重心の軌跡	高村
6月25日	17	歩行の運動学・力学的分析②		高村
7月2日	18	歩行の運動学・力学的分析③		高村
7月2日	19	動作分析(歩行)①	グループディスカッション③ 歩行動作観察の実際	高村
7月9日	20	動作分析(歩行)②		高村
7月9日	21	動作分析(歩行)③、異常歩行		高村
7月16日	22	走行、階段昇降、歩行時のエネルギー代謝	昇段、降段、関節モーメント	高村
7月23日	23	まとめと評価		高村
教科書 参考書	基礎運動学 第6版 補訂 中村隆一ほか 医歯薬出版			
授業に必要な物	座学ではPC、プロジェクターを準備する。 実技・演習では動きやすい格好をすること。			
備考	わからない事があった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心掛けること。			

【科目名】	義肢装具学	専門分野(2単位)	【講師名】	宮内 博之、吉田 望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	60時間 (2時間 30回)		【時間帯】	13:00 ~ 14:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	上肢・体幹・下肢に対する義肢療法について、基礎的な知識を学習すると共に、疾患に対する義肢処方の実際について学ぶ 切断肢に対する評価とリハビリテーションについて学び、義肢に対する知識と起こりやすい異常歩行について理解する						
前提知識	正常な歩行の運動学について周知していること 一般的な整形疾患について事前に学習すること						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	上肢・体幹・下肢に対する義肢療法について、基礎的な知識を学習すると共に、疾患に対する義肢処方の実際について学ぶ 切断肢に対する評価とリハビリテーションについて学び、義肢に対する知識と起こりやすい異常歩行について理解する						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディベート等	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期		第7,30回				
	補足		宮内・吉田=1:3				
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現	○						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月9日	1	装具学総論	義肢装具士(PO)とは、役割と給付体制、装具の基礎知識	宮内
4月23日	2	装具探型演習	機能と概要・モデル作成(演習)	宮内
4月23日	3	装具探型演習	機能と概要・モデル作成(演習)	宮内
5月14日	4	下肢装具総論	下肢装具の部品とその機能、下肢装具の種類	宮内
5月28日	5	体幹装具総論	体幹装具の目的と適応疾患、体幹装具の分類と主な体幹装具	宮内
6月11日	6	上肢装具総論	義肢の分類、義手の種類・構造、筋電義手	宮内
6月18日	7	【第1回～6回までのまとめと評価】	【確認テスト】	宮内
4月3日	8	車椅子について	様々な車椅子の特徴、構造名称、採寸基準 処方 チェックアウト	吉田
4月3日	9	整形外科疾患の装具	体幹装具 脊柱圧迫骨折・側弯症	吉田
4月11日	10	上肢装具	静的装具と動的装具 末梢神経麻痺と装具	吉田
4月11日	11	長下肢装具	長下肢装具・短下肢装具に使用される部品の名称とその機能 膝継手(リングロック・ダイヤルロック・オフセットなど)	吉田
4月18日	12	長下肢装具	長下肢装具のチェックアウト 股関節・膝関節関連(ACL・反張膝)	吉田
4月18日	13	短下肢装具	様々な短下肢装具・チェックアウト 足継手(クレンザック・ダブルクレンザックなど) AFO、SHB、ゲートソリューション、	吉田
5月10日	14	PBL課題「下肢装具が与える歩行への影響」	関節モーメント、制動、補助	吉田
5月15日	15	整形外科疾患の装具	骨折の装具 PTB	吉田
5月15日	16	整形外科疾患の装具	脊髄損傷	吉田
5月29日	17	小児領域の装具	先天性股関節脱臼・ベルテス病・二分脊椎・デュシャンヌ型筋ジストロフィー	吉田
5月29日	18	靴型装具	足部の変形とソール・ヒールの処方	吉田
6月12日	19	脳卒中片麻痺の装具	片麻痺の異常歩行、歩行レベルと装具の選択 チェックアウト・調整の仕方	吉田
6月12日	20	PBL課題「脳卒中片麻痺の歩行分析」	歩行分析をしてみよう 装具によって歩行はどう変わるかを分析しよう	吉田
6月27日	21	PBL課題「脳卒中片麻痺の歩行分析」		吉田
6月28日	22	切断の理学療法の流れ 切断と義足の基礎知識	切断部位、断端管理(ソフトレッシング・リジッドレッシング)	吉田
7月4日	23	切断の理学療法の流れ 切断と義足の基礎知識	切断の評価 義足装着前訓練	吉田
7月5日	24	大腿切断	大腿ソケット、膝継手、足部の構造 ベンチアライメント	吉田
7月11日	25	大腿義足の異常歩行	大腿義足の異常歩行とその原因	吉田
7月12日	26	下腿切断	下腿ソケット・サイム切断 ベンチアライメント	吉田
7月18日	27	下腿義足の異常歩行	下腿義足の異常歩行とその原因	吉田
7月18日	28	義足患者のADL	義足患者のADL指導	吉田
7月18日	29	上肢切断と義手	上肢切断の部位、能動義手、装飾義手、筋電義手	吉田
7月26日	30	【第8回～29回までのまとめと評価】	【確認テスト】	吉田
教科書 参考書	理学療法テキスト 15レクチャーシリーズ 装具学 (中山書店) 理学療法テキスト 15レクチャーシリーズ 義肢学 (中山書店)			
授業に必要な物	PCとプロジェクターを準備して下さい。 必要な装具は随時義肢装具加工室から選びます。			
備考	ギプス採型時は汚れてもよい服装で受講すること			

【科目名】	小児科学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	大沼 晃			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (3時間 10回)		【時間帯】	13:55 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	小児の正常発達とその異常および小児リハに必要な小児期疾患の各論について理解する。						
前提知識	生理学全般(特に発生に関わる部分)、脳解剖						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	小児の正常発達とその異常および小児リハに必要な小児期疾患の各論について理解し、セラピストとしての関わり方を身に付ける。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足	質疑応答など	障害像など				
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月10日	1	小児科学概論、新生児学	小児の成長と発達、新生児・周産期異常	大沼
4月17日	2	発達神経学	発達神経学の概要	大沼
4月24日	3	障害児医学	障害児医学の概要	大沼
5月8日	4	神経筋疾患、てんかん	急性疾患、先天性疾患、てんかん発作分類と症候分類	大沼
5月22日	5	呼吸器疾患、循環器疾患	先天性心疾患、上・下気道疾患の症状と検査・治療	大沼
6月5日	6	感染症、アレルギー疾患	各年代での代表的感染症、アレルギー・自己免疫疾患	大沼
6月26日	7	血液疾患、内分泌疾患	赤血球・白血球系の異常、内分泌疾患・糖質代謝異常	大沼
7月3日	8	消化器疾患、腎疾患	口腔・食道・胃腸・肝臓疾患、腎・泌尿器系疾患	大沼
7月10日	9	重症心身障害児	重症心身障害児の定義および発達	大沼
7月17日	10	まとめと評価	各疾患の症状と検査・治療	大沼
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 小児科学(第4版) 医学書院			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	整形外科科学Ⅰ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	木幡 博人(理学療法士)、金澤 聡(作業療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:40 ~12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科分野の知識について理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足				◎		
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月1日	1	下肢の骨折	オリエンテーション X-ray, MRIの診かたについて	木幡
4月8日	2	下肢の骨折	大腿骨頭部骨折(病態と発生機序・分類・代表的な治療)	木幡
4月15日	3	変形性関節症	変形性関節症の病態	木幡
4月22日	4	変形性股関節症	変形性膝関節症の病態、病期、治療	木幡
5月13日	5	変形性膝関節症	変形性膝関節症の病態、病期、治療	木幡
5月20日	6	スポーツ外傷(ACL, PCL損傷、捻挫など)①	膝関節損傷(病態と発生機序・分類・代表的な治療)	木幡
5月27日	7	スポーツ外傷(ACL, PCL損傷、捻挫など)②	足関節損傷(病態と発生機序・分類・代表的な治療)	木幡
6月3日	8	骨折①	骨折の種類(単純骨折・複雑骨折等)、治療過程、骨折の3大徴候、骨折の治療日数、治療方法	金澤
6月10日	9	骨折②	骨折の合併症、深部静脈血栓症、コンパートメント症候群、CRPS、小児の骨折の特徴、自家矯正能、若木骨折、急性塑性変形等	金澤
6月17日	10	骨折③	脱臼(肩・肘・股関節)、捻挫、靭帯損傷、スポーツ外傷	金澤
6月24日	11	末梢神経損傷、絞扼性神経障害	末梢神経の構造、セドンの分類、サンダーランドの分類、腕神経叢損傷、胸郭出口症候群、正中神経・尺骨神経・橈骨神経、手根管症候群、肘部管症候群、足根管症候群等	金澤
7月1日	12	上肢の骨折	骨折の分類、モンテジヤ骨折、ガレアッチ骨折、コレス骨折、スミス骨折、ベネット骨折等	金澤
7月8日	13	肩疾患	肩周囲の構造、回旋筋腱板、肩関節周囲炎、腱板断裂・術後プロトコール等	金澤
7月22日	14	関節リウマチ	リウマチの病理学、関節変形(スワンネック変形、ボタン穴変形、マレット指、ムチランス変形、尺側変位、脊柱変形、膝・足関節変形、外反母趾等)ステインブロッカーの分類(クラス、ステージ)、ランズバリー指数、診断基準	金澤
7月29日	15	まとめと評価		金澤
教科書 参考書	標準整形外科学(医学書院) PT:15レクチャーシリーズ理学療法テキスト(運動器障害 理学療法Ⅱ)			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	生活環境論	専門分野(2単位)	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:00 ~ 14:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	住宅整備に必要な基礎知識を身に付ける。福祉住環境コーディネーターの資格取得を視野に入れる。						
前提知識	リハビリに関わる諸制度(介護保険制度) 疾患の特性						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	住宅整備に必要な基礎知識を身に付ける。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	80			10	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論	○	○			○	
実践・表現		○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月22日	1	生活環境学の概念	バリアフリー、福祉住環境コーディネーター	渡辺
5月13日	2	生活環境と法的諸制度	社会保険制度、介護保険制	渡辺
5月20日	3	生活環境の評価	ICF、住宅構造、家庭内事故防止	渡辺
5月27日	4	住宅整備について	住宅基礎、制度	渡辺
6月3日	5	住宅整備と覚えるべき数値①	スロープ、手すりの位置、有効幅	渡辺
6月10日	6	住宅整備と覚えるべき数値②	高さ調整、引き戸、開き戸	渡辺
6月17日	7	症例検討①	症例提示	渡辺
6月24日	8	症例検討②	ICF	渡辺
6月25日	9	模擬試験	福祉住環境コーディネーター試験	渡辺
7月1日	10	症例検討③	グループワーク(発表準備)	渡辺
7月2日	11	症例検討③	グループワーク(発表準備)	渡辺
7月8日	12	症例発表①	住宅整備	渡辺
7月12日	13	症例発表②	住宅整備	渡辺
7月16日	14	症例検討についてのまとめ		渡辺
7月22日	15	まとめと評価		渡辺
教科書 参考書	U-CANの福祉住環境コーディネーター3級			
授業に必要な物	上記参考書			
備考	福祉住環境コーディネーター試験日 H31年7月7日(日) (申し込み締め切り 5月24日)			

【科目名】	精神医学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉井 初美			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:40 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	①精神疾患の病態を理解する ②精神障害支援を理解する						
前提知識	脳解剖や神経細胞、内臓機能など生理学・解剖学的知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各精神障害の障害像・病態を理解し、障害にあった支援を理解し実践できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月10日	1	精神医学とは	精神障害にかかわる概念、精神医学の歴史	吉井
4月17日	2	精神障害の成因と分類、精神機能の障害と精神症状	精神障害の成因・分類、精神症状の把握、主な精神状態像	吉井
4月24日	3	精神障害の診断と評価	精神医学的診察法、身体的検査法、心理検査法、精神症状の評価	吉井
5月8日	4	症状性精神障害 精神作用物質による精神および行動障害について	アルコール関連精神障害、薬物依存による精神障害	吉井
5月15日	5	てんかん、統合失調症	てんかんに伴う精神障害、精神症状の特徴・病型	吉井
5月22日	6	気分障害	うつ病、躁うつ病、持続性気分障害	吉井
5月29日	7	神経症性障害 生理的障害および身体的要因に関連した障害	PTSD、解離性障害、摂食障害、睡眠障害	吉井
6月5日	8	パーソナリティ行動性の障害	行動の障害、性の障害	吉井
6月12日	9	精神遅滞	ダウン症候群、結節硬化症、フェニルケトン尿症、クレチン病	吉井
6月19日	10	心理的発達障害	特異的発達障害、広汎性発達障害	吉井
6月19日	11	リエゾン精神医学 心身医学	コンサルテーション・リエゾン精神医学とは、心身症の定義と概要	吉井
6月26日	12	ライフサイクルにおける精神医学	ライフサイクルと年代の区分、各年代での心理的・社会的特性	吉井
7月10日	13	精神障害の疾患とリハビリテーション	リハビリテーションの目標と方法、薬物療法、身体療法、精神療法	吉井
7月17日	14	精神科保健疾患と福祉・職業リハビリテーション	精神保健福祉法、障害者総合支援法、職業リハビリテーション	吉井
7月24日	15	まとめと評価	各精神疾患の概要・病態理解と支援方法について	吉井
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 精神医学(医学書院)			
授業に必要な物	上記教科書			
備考	適宜課題を与えるため期日を守り提出すること。			

【科目名】	地域理学療法学 I	専門分野(1単位)	【講師名】	渡邊 好孝(理学療法士)、吉田 望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	地域で生活している高齢者・障害者・障害児の生活自立支援に向けて、基本的な概念および制度・連携体制等を学ぶ。 また、医療・保健・福祉に携わる理学療法士の専門的な介入の現状について知識を得る。 介護予防などの集団リハビリテーションの手法を学ぶ						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	地域の中での理学療法の基本を理解する 様々な在宅支援サービスとそれの中での理学療法士の役割を理解する						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10			90		
	実施時期				随時		
	補足	授業態度			毎回期日は指定する		
	関心・意欲	○					
	知識・理解				○		
	思考・推論				○		
実践・表現				○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	ICIDHとICF	国際障害分類 国際生活機能分類	吉田
4月10日	2	ICIDHとICF	理学療法の流れと障害構造の理解	吉田
4月17日	3	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステム 公助・共助・互助・自助	吉田
5月8日	4	介護保険制度	介護保険制度の理念 要介護度・要介護認定について	吉田
5月15日	5	介護保険制度	介護保険サービスの種類・介護報酬について介護支援専門員 ケアプラン	吉田
5月22日	6	各種サービス	入所サービス 介護老人保健施設 介護老人福祉施設	吉田
5月29日	7	各種サービス	居宅サービス 通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション	吉田
6月5日	8	介護予防	介護予防とは 一次予防・二次予防・三次予防 地域における介護予防事業・地域包括支援センター	吉田
6月12日	9	産業リハビリテーション	JMAT・JRAT 大規模災害発生時の理学療法士の役割 産業リハビリテーション	吉田
6月19日	10	まとめ	まとめ	吉田
6月28日	11	理学療法管理学	制度の理解 診療報酬管理	渡邊
7月5日	12	理学療法管理学	職務管理	渡邊
7月12日	13	理学療法管理学	組織運営に関するマネジメント	渡邊
7月19日	14	理学療法管理学	理学療法倫理	渡邊
7月26日	15	理学療法管理学	職場管理	渡邊
教科書 参考書	指定なし			
授業に必要な物				
備考	提出物が3回以上遅れた場合は単位を認めませんので期日を守ること			

【科目名】	内科学 I	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 望(理学療法士)、櫻井 直人(作業療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:40 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	内臓学に関する解剖・生理学の1年次の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期		15回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月4日	1	循環器 解剖・生理のおさらい 高血圧・低血圧	心臓の機能解剖 体循環・肺循環 刺激伝導系	吉田
4月11日	2	虚血性心疾患	狭心症・心筋梗塞	吉田
4月18日	3	心不全	右心不全・左心不全	吉田
5月9日	4	先天性心疾患 心筋症・心弁膜症	心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー4徴	吉田
5月16日	5	血管疾患	大動脈瘤 末梢循環障害(ASO、パージャヤー病、レイノー病、下肢静脈瘤)	吉田
5月23日	6	解剖・生理のおさらい	肺の機能解剖 ガス交換・酸塩基平衡	吉田
5月30日	7	解剖・生理のおさらい	呼吸機能評価・スパイロメーター 呼吸音	吉田
6月6日	8	呼吸不全	閉塞性換気障害・拘束性換気障害 低酸素血症 息切れの分類	吉田
6月13日	9	各種肺疾患	COPD 肺線維症 びまん性気管支炎 気管支拡張症 気管支喘息 気胸 肺性心 肺結核	吉田
6月20日	10	糖代謝・腎臓機能	糖代謝のメカニズム 腎臓の機能解剖	櫻井
6月27日	11	糖尿病	糖尿病のメカニズム 診断基準 症状	櫻井
7月4日	12	"	低血糖症状・高血糖症状	櫻井
7月11日	13	"	合併症	櫻井
7月18日	14	腎不全	慢性腎不全 透析療法	櫻井
7月25日	15	まとめと確認		教員
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野 内科学			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	日常生活活動	専門分野(1単位)	【講師名】 渡邊 好孝(理学療法士)、吉田 望(理学療法士)				
【講義期間】	2年次 前期		【対象学生】 第2学年 理学療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 15:30 ~ 16:10 (他時間割参照)				
授業内容・目標	日常生活活動の概念と範囲を学び、その評価手法を学ぶ 日常生活動作について運動学的視点から理解する						
前提知識	1年次に学習した基礎運動学を復習しておくこと						
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	日常生活活動の様々な評価法を理解し、評価ができる 日常生活動作の分析と解釈ができる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10%	30%		60%		
	実施時期				10回終了後		
	補足				期日は指定する		
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○		○		
	思考・推論	○	○		○		
実践・表現	○			○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月5日	1	日常の中での身体様式	姿勢と体位	渡邊
4月5日	2	ADLの運動学	重心と重心線 重心の位置と安定性	渡邊
4月26日	3	ADLの運動学	カウンターウエイト カウンターアクティビティ カウンタームーブメント	渡邊
5月10日	4	ADLの運動学:運動学的分析	背臥位からの起き上がり	渡邊
5月17日	5	ADLの運動学:運動学的分析	背臥位からの起き上がり	渡邊
5月24日	6	ADLの運動学:運動学的分析	椅子からの立ち上がり	渡邊
5月31日	7	ADLの運動学:運動学的分析	椅子からの立ち上がり	渡邊
6月7日	8	起居動作の介助	【実践練習】	渡邊
6月14日	9	起居動作の介助	【実践練習】	渡邊
6月21日	10	車椅子移乗の介助	【実践練習】	渡邊
	11	ADLの概念と範囲	基本的ADL・拡大ADL ADLとQOL ICFとADL	吉田
	12	ADL評価法	評価尺度 代表的なADL評価法 しているADLとできるADL	吉田
	13	Barthel Index 機能的自立度評価法(FIM)	BIとFIMの理解	吉田
	14	Barthel Index 機能的自立度評価法(FIM)	【評価実践】 模擬患者のADL評価実践	吉田
	15	Barthel Index 機能的自立度評価法(FIM)	【まとめと確認】	吉田
教科書 参考書	標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版 編集 鶴見隆正 医学書院			
授業に必要な物				
備考	ADLの運動学では実技も行いますので、動きやすい服装で受講すること			

【科目名】	理学療法各論Ⅲ(整形外科)	専門分野(1単位)	【講師名】	木幡 博人(理学療法士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	9:00 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科疾患における病態について理解し、病態運動を予測する。 1年次に学習した関節周囲の機能解剖について復習し、疾患の病態や病態運動をPT評価に結びつける。 評価結果から歩行状態を予測し、歩行を改善するための治療について考察する。必要に応じ、評価や治療について実技も行う。						
前提知識	筋・骨格系(関節・靭帯・腱・半月板など)の基礎知識 整形外科疾患の病態、病態運動など						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習(○)						
到達目標	グループ学習と発表(時折)を通して、整形外科疾患の病態による機能障害を意識した評価項目が列挙出来る。 機能障害からADL動作を予測する事が出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50%		20%		
	実施時期		23回目				
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○				
実践・表現					○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月25日	1	整形外科における理学療法について	オリエンテーション トップダウン・ボトムアップ思考	木幡
4月25日	2	(症例検討) 下腿骨骨折における理学療法	・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのような評価が必要か理由を付けて列挙 ・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのようなADLになるか予測	木幡
5月9日	3	(症例検討) 下腿骨骨折における理学療法	・評価項目と理由について確認 ・評価結果から歩行動作を予測	木幡
5月9日	4	(症例検討) 下腿骨骨折における理学療法	・歩行動作について回答	木幡
5月23日	5	(症例検討) 大腿骨頸部骨折における理学療法	・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのような評価が必要か理由を付けて列挙 ・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのようなADLになるか予測	木幡
5月23日	6	(症例検討) 大腿骨頸部骨折における理学療法	"	木幡
5月30日	7	(症例検討) 大腿骨頸部骨折における理学療法	・評価項目と理由について確認 ・評価結果から歩行動作を予測	木幡
5月30日	8	(症例検討) 大腿骨頸部骨折における理学療法	・歩行動作について回答	木幡
6月6日	9	(症例検討) 変形性股関節症(保存)における理学療法	・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのような評価が必要か理由を付けて列挙 ・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのようなADLになるか予測	木幡
6月6日	10	(症例検討) 変形性股関節症(保存)における理学療法	"	木幡
6月13日	11	(症例検討) 変形性股関節症(保存)における理学療法	・評価項目と理由について確認 ・評価結果から歩行動作を予測	木幡
6月13日	12	(症例検討) 変形性股関節症(保存)における理学療法	・歩行動作について回答	木幡
6月20日	13	(症例検討) 変形性膝関節症における理学療法	・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのような評価が必要か理由を付けて列挙 ・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのようなADLになるか予測	木幡
6月20日	14	(症例検討) 変形性膝関節症における理学療法	"	木幡
6月27日	15	(症例検討) 変形性膝関節症における理学療法	・評価項目と理由について確認 ・評価結果から歩行動作を予測	木幡
6月27日	16	(症例検討) 変形性膝関節症における理学療法	・歩行動作について回答	木幡
7月4日	17	(症例検討) スポーツ外傷(靭帯・半月板)	・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのような評価が必要か理由を付けて列挙 ・疾患の特徴およびカルテ情報から、どのようなADLになるか予測	木幡
7月4日	18	(症例検討) スポーツ外傷(靭帯・半月板)	"	木幡
7月11日	19	(症例検討) スポーツ外傷(靭帯・半月板)	・評価項目と理由について確認 ・評価結果から歩行動作を予測	木幡
7月11日	20	(症例検討) スポーツ外傷(靭帯・半月板)	・歩行動作について回答	木幡
7月19日	21	整形外科疾患の運動療法		木幡
7月19日	22	整形外科疾患の運動療法		木幡
7月29日	23	試験 まとめと評価		木幡
教科書 参考書	理学療法テキスト 15レクチャーシリーズ 運動器障害理学療法Ⅰ・Ⅱ (中山書店) 標準整形外科 その他(評価学の教科書など)			
授業に必要な物	座学ではPC、プロジェクターを準備する。 21.22コマ目は実技では動きやすい格好。			
備考	わからない事があった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心掛けること。助け合ってグループ学習を実施すること。			

【科目名】	臨床神経学Ⅰ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	長澤 治夫			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	疫学、病理学、治療学という3つの側面から、神経内科学とその関連領域や専門診療科目との関係を理解する。						
前提知識	脳解剖学、病理学、生理学の全般知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	疫学、病理学、治療学という3つの側面から、神経内科学とその関連領域や専門診療科目との関係を理解し、患者を評価しリハビリを実践する知識を身に付ける。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月1日	1	臨床神経学の基礎(1)	神経系の構造と機能(1)	長澤
4月8日	2	臨床神経学の基礎(2)	神経系の構造と機能(2)	長澤
4月15日	3	神経学的診察法(1)	神経学的診察法	長澤
4月22日	4	神経学的診察法(2)	神経所見の診かた	長澤
5月13日	5	神経症候学(1)	神経系に特異的な症候	長澤
5月20日	6	神経症候学(2)	意識障害の診かた	長澤
5月27日	7	神経症候学(3)	構音障害・嚥下障害の診かた	長澤
6月3日	8	神経症候学(4)	運動障害の診かた	長澤
6月10日	9	神経症候学(5)	感覚障害の診かた	長澤
6月17日	10	神経症候学(6)	不随意運動の診かた	長澤
6月24日	11	神経心理学(1)	高次脳機能障害の診かた	長澤
7月1日	12	神経心理学(2)	失語・失行・失認の診かた	長澤
7月8日	13	神経学的検査法(1)	神経放射線検査	長澤
7月22日	14	神経学的検査法(2)	神経生理学検査法	長澤
7月29日	15	まとめと評価	各神経症候学について、神経心理学・神経学的検査法について	長澤
教科書 参考書	神経内科学テキスト 改訂第4版 南江堂 ベッドサイド神経の診かた 改訂18版 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	整形外科学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	木幡 博人(理学療法士)、金澤 聡(作業療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	14:40 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科分野の知識について理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
実践・表現	○						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	スポーツ障害	上肢・下肢のスポーツ障害、疲労骨折等	木幡
	2	腰痛症	腰痛を引き起こす疾患、腰痛の評価、治療	木幡
	3	骨粗鬆症	骨粗鬆症の成因、原発性と続発性、評価と治療、その他の骨低量を示す疾患	木幡
	4	骨壊死・骨端症	特発性骨壊死と続発性骨壊死、骨端症の分類	木幡
	5	四肢循環障害	深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、バージャー病、閉塞性動脈硬化症、他	木幡
	6	側弯症	側弯症の分類、評価、治療	木幡
	7	国家試験問題(専門共通)の確認	国家試験問題の過去問の解説	木幡
	8	脊髄損傷①	脊髄ショック、麻痺、自律神経過反射、残存高位とADL、ザンコリーの分類、ASIAの分類、フランケルの分類	金澤
	9	脊髄損傷②	障害部位による分類(脊髄部分損傷、中心性脊髄損傷、ブラウンセカール症候群等)、脊髄の上行生伝導路、脊髄の下行性伝導路	金澤
	10	熱傷	熱傷深度、熱傷指数、熱傷予後指数、気道熱傷、熱傷面積の判定	金澤
	11	痛みについて、疼痛の評価と治療	急性期、慢性期、評価(NRS、VAS、フェイススケール、Abby pain scale、STAS-J)、CRPS、Sudeck骨萎縮、肩手症候群	金澤
	12	骨髓腫・骨腫瘍・軟部腫瘍	多発性骨髓腫(病期)・骨肉腫	金澤
	13	OPLL、椎間板ヘルニア	OPLLの症状、頸椎椎間板ヘルニア(ジャクソンテスト、スパーリングテスト)、腰椎椎間板ヘルニア(ラセーグ徴候)	金澤
	14	ロコモティブシンドロームとフレイル・サルコペニア	ロコモ度チェック・評価、ロコモ体操、フレイル(要介護状態の前段階)、サルコペニア(進行性筋量・筋力減少)について	金澤
	15	まとめと評価	整形外科領域の基礎知識の確認。疾患の特徴、検査、治療の理解について確認。	木幡
教科書 参考書	標準整形外科学(医学書院)			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	理学療法各論Ⅱ（中枢性疾患）	専門分野（2単位）	【講師名】	高村 真司(理学療法士)、渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間（2時間 23回）		【時間帯】	13:00～16:10（他時間割参照）			
授業内容・目標	脳血管障害・高次脳機能および脊髄損傷の病態や回復のメカニズムなどを学び、各病期における理学療法の展開を理解することが出来る。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖学・生理学に関する基礎知識。 動作を理解するための運動学(筋・骨格)の基礎知識。 中枢神経系の各疾患の病態についての基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	中枢神経系の疾患の発生機序と病態を理解し、障害像を説明できる。 脳血管障害の対する評価・治療の流れを説明することが出来、理学療法を展開することが出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現	○	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	オリエンテーション	脳血管障害、中枢神経系、脳の解剖・生理	高村
	2	頭部外傷・脳腫瘍の病態について①	頭部外傷、硬膜下血腫、硬膜外血腫、脳挫傷、びまん性軸索損傷、脳腫瘍	高村
	3	頭部外傷・脳腫瘍の病態について②		高村
	4	頭部外傷・脳腫瘍に対する理学療法		各病態に対する外科・内科治療、急性期・回復期・維持期における理学療法
	5	脳画像の評価について①	脳の解剖、MRI、CT	高村
	6	脳画像の評価について②		高村
	7	脳血管障害後片麻痺患者に対する評価①	疾患名、医学的情報、社会的情報、各理学療法評価項目、ICF、目標設定	高村
	8	脳血管障害後片麻痺患者に対する評価②		高村
	9	脳血管障害後片麻痺患者に対する評価③		高村
	10	脳血管障害後片麻痺患者に対する評価④		高村
	11	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法①	治療計画、治療実施、ADL、在宅、環境設定、退院時指導	高村
	12	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法②		高村
	13	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法③		高村
	14	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法④		高村
	15	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法⑤		高村
	16	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法⑥		高村
	17	脳血管障害後片麻痺患者に対する理学療法 まとめ		高村
	18	脊髄損傷について	概要、発生機序、病態、予後	渡辺
	19	脊髄損傷の理学療法 評価	末梢神経の髄節、残存機能、Zancoliの分類、ASIA等	渡辺
	20	脊髄損傷の理学療法 ADL	起き上がり、移乗、移動、車椅子	渡辺
	21	脊髄損傷の理学療法 住宅改修等	福祉機器、住宅改修	渡辺
	22	脊髄損傷の理学療法 まとめ		渡辺
	23	まとめと評価		担当教員
教科書 参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法Ⅱ 総編集 石川 朗 株式会社中山書店 病気が見える Vol.7(脳・神経) 第1版 編集 医療情報科学研究所 株式会社メディックメディア			
授業に必要な物	座学ではPC、プロジェクターを準備する。 実技では動きやすい格好。指定があったときには、ケシー(白衣)着用すること。			
備考	わからない事があった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心掛けること。			

【科目名】	疾患別日常生活活動	専門分野(1単位)	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30(他時間割参照)			
授業内容・目標	各疾患特有のADL障害について理解し、その評価や対策、理学療法アプローチについて理解する。アクティブラーニングを基本とし、自ら課題を解決しまとめ報告する力をつける。						
前提知識	各疾患の基本的な病態・障害像を理解できていること。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の基本的な病態・障害像を理解し、特徴的なADL障害を知る。そのADL障害に対する理学療法アプローチならびに代償的アプローチを実践できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	80%			20	
	実施時期	随時	最終日			随時	
	補足		レポート			グループ活動時	
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○			○		

授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
9月20日	1	ICFとADL 疾患別日常生活活動の学習方法について	アクティブラーニングのオリエンテーション まとめ方・発表の仕方・グループ決定 症例報告の仕方 レポートの書き方				渡辺
9月20日	2	理学療法の一連の流れを知る 情報収集と評価	処方箋から疾患について調べる 必要な情報収集を行う 取得した情報を記録する				渡辺
9月27日	3		必要な情報収集を実施する 取得した情報を記録する 必要な評価を列挙する				渡辺
9月27日	4						渡辺
10月4日	5		評価を実施する 結果を考察する 他に必要な評価を列挙する				渡辺
10月4日	6						渡辺
10月11日	7		評価を実施する 結果を考察する 他に必要な評価を列挙する				渡辺
10月11日	8						渡辺
10月18日	9		ADLと機能評価について考える 歩行と機能評価の結果を考察する ロジックツリー				渡辺
10月18日	10						渡辺
10月25日	11		理学療法の一連の流れを知る 問題点の抽出とゴールの設定	問題点をICFで列挙する 長期目標・短期目標を設定する			
10月25日	12					渡辺	
11月1日	13	プログラムを立案する	プログラムを立案する				渡辺
11月1日	14						渡辺
11月8日	15	まとめ・評価	症例報告を作成する				渡辺
教科書 参考書	標準理学療法学「日常生活活動学・生活環境論」 その他必要な教科書						
授業に必要な物	ファイル パソコン						
備考	各グループで協力し、計画的に進める事。 ディスカッション・提出・指導者とのやり取りも評価の対象となりますので、人任せにせず積極的に取り組むこと。						

【科目名】	地域理学療法学Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】	吉田 望(理学療法士)、出江、鈴嶋、道又			
【講義期間】	2年後後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (90分 15回)		【時間帯】	14 : 40 ~ 15 : 30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	臨床実習に対応できる知識、判断力、考察力を身に付ける。 患者さんを指導する上でのコーチングの技法を身につける 地域理学療法の実践能力を身につける						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	臨床実習に対応できる知識、判断力、考察力を身に付けることができる 患者さんを指導する上でのコーチングの技法を身につけることができる 地域理学療法の実践能力を身につける						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70		30		
	実施時期		当科目終了時		平時		
	補足						
	関心・意欲				○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現		○		○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	コーチング①	コーチングとは。コーチングコミュニケーションのスキル	出江
	2	コーチング②	医療コーチングのエビデンス	道又
	3	コーチング③	医療マネジメントとコーチング	鈴嶋
	4	コーチング④	リハビリテーションとコーチング	道又
	5	コーチング⑤	コーチングスキルトレーニング	道又
	6	コーチング⑥	疾患ごとのコーチングスキルの応用①	道又
	7	コーチング⑦	疾患ごとのコーチングスキルの応用②	道又
	8	地域理学療法の評価	情報収集の目的 項目 環境因子の情報収集	吉田
	9	地域理学療法の評価	介護保険制度の情報収集 ケアプランとの整合性	吉田
	10	地域理学療法の評価	統合と解釈	吉田
	11	地域理学療法の評価	統合と解釈	吉田
	12	地域理学療法の実践	環境面へのアプローチ	吉田
	13	地域理学療法の実践	社会面へのアプローチ	吉田
	14	地域理学療法の実践	総合的な支援計画	吉田
	15	まとめと評価		吉田
教科書 参考書	随時指示する			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	内科学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 望(理学療法士)、櫻井 直人(作業療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:30 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	内臓学に関する解剖・生理学の1年次の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	○	100%				
	実施時期		15回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード			講師	
	1	内分泌疾患	内分泌の基礎	内分泌の仕組み ホルモンの作用			吉田
	2		内分泌疾患各論	クッシング病 尿崩症 パセドウ病 クレチン病 橋本病 褐色細胞腫 アジソン病 など			吉田
	3	自己免疫疾患	自己免疫とは	自己免疫の働き アレルギーとは			吉田
	4		自己免疫疾患各論	全身性エリテマトーデス 多発性筋炎 強皮症 結節性多発動脈炎			吉田
	5		自己免疫疾患各論	リウマチ熱 シェーグレン症候群 ベーチェット病 強直性脊椎炎			吉田
	6	がん	がんの病理	がんの病理 良性腫瘍と悪性腫瘍 がんの転移			吉田
	7		がんの治療	化学療法 放射線治療 緩和ケア 悪液質症候群			吉田
	8	血液疾患	血液の生理	血液の主成分 造血と分化			櫻井
	9		血液・造血器疾患各論	血友病 貧血 白血病			櫻井
	10	消化管疾患	消化管のおさらい	内臓学 消化器の構造と役割			櫻井
	11		消化管のおさらい	内臓学 胆肝臓の構造と役割			櫻井
	12		消化管疾患各論	肝炎 膵炎 クローン病 潰瘍性大腸炎			櫻井
	13		消化管疾患各論	腸閉塞 アカラシア 門脈圧亢進			櫻井
	14	代謝		ビタミン欠乏症			櫻井
	15	まとめと確認					教員
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野 内科学						
授業に必要な物							
備考							

【科目名】	薬理学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	柳澤 輝行			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9:00 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	リハビリテーション場面で、薬物を服用している患者に対する深い理解を学修する						
前提知識	解剖学、生理学の知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	薬物についての、人への影響を理解する						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	薬理学総論	薬理学とは、用量反応関係、薬物動態学	柳澤
	2	情報伝達	生体内情報伝達機構、薬理的受容体の構造と機能、細胞内情報伝達系	柳澤
	3	神経薬理学	新薬理学総論、自律神経、交感神経に作用する薬物、副交感神経に作用する薬物	柳澤
	4	循環器系薬理学	高血圧治療薬、血圧降下薬、降圧薬、虚血性心疾患の治療薬、心不全治療薬と強心薬	柳澤
	5	利尿薬	利尿薬	柳澤
	6	呼吸器系の薬理学	気管支喘息とその治療薬、慢性閉塞性肺疾患とその治療薬、種々の呼吸器疾患治療薬	柳澤
	7	消化器系の薬理学、血液の薬理学	消化性潰瘍治療薬、下痢・便秘治療薬	柳澤
	8	まとめと評価	薬理学について	柳澤
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	新薬理学入門 改訂3版 編著 柳澤輝行 南山堂			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法各論Ⅳ(整形外科)	専門分野(1単位)	【講師名】	佐藤大樹(理学療法士)			
【講義期間】	2年後後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	14:40 ~ 15:30(他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科疾患を担当したときに必要な他部門の情報(問診・X-P・MRI・生化学検査・特殊検査等)について理解する。1年次に学習した関節周囲の機能解剖について復習し、疾患の病態やPT評価・治療に結びつける。必要に応じ、評価や治療について実技も行う。						
前提知識	筋・骨格系(関節・韧带・腱・半月板など)の基礎知識 整形外科疾患の病態、病態運動など						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習(○)				
到達目標							
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10%	80%			10%	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解		○				
思考・推論			○				
実践・表現						○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月18日	1	足関節疾患、術後の評価と治療①	足関節の機能解剖、足関節疾患の評価と治療(総論)	佐藤
9月18日	2	足関節疾患、術後の評価と治療②	疾患別評価と治療 足関節韧带損傷、アキレス腱断裂、足関節・足部の骨折	佐藤
9月25日	3	肩関節疾患に対する評価と治療①	肩関節の機能解剖、肩関節疾患の評価と治療(総論)	佐藤
9月25日	4	肩関節疾患に対する評価と治療②	疾患別評価と治療 肩関節周囲炎、腱板損傷、肩関節脱臼	佐藤
10月2日	5	肘関節疾患に対する評価と治療	肘関節の機能解剖、肘関節疾患の評価と治療	佐藤
10月2日	6	手関節疾患に対する評価と治療①	手関節の機能解剖、手関節疾患の評価と治療(総論)	佐藤
10月9日	7	手関節疾患に対する評価と治療②	疾患別評価と治療 前腕・手関節の骨折、手根管症候群	佐藤
10月9日	8	頸部疾患、術後に対する評価と治療①	頸部の機能解剖、頸部疾患の評価と治療(総論)	佐藤
10月16日	9	頸部疾患、術後に対する評価と治療②	疾患別評価と治療 頸椎椎間板ヘルニア、OPLL、変形性頸椎症	佐藤
10月16日	10	腰部疾患に対する評価と治療①	腰部の機能解剖、腰部疾患の評価と治療(総論)	佐藤
10月23日	11	腰部疾患に対する評価と治療②	疾患別評価と治療 腰椎椎間板ヘルニア、脊椎圧迫骨折、脊柱管狭窄症、腰痛症	佐藤
10月23日	12	絞扼性神経障害に対する評価と治療	徒手検査法と治療 胸郭出口症候群、肘部管症候群、手根管症候群、その他	佐藤
10月30日	13	熱傷に対する評価と治療	熱傷の病態、評価と治療	佐藤
10月30日	14	CRPSに対する評価と治療	CRPSの病態、評価と治療	佐藤
11月13日	15	術後のリスク管理(DVT, PTE)	整形外科手術後に発症しやすいDVT, PTEの予防と治療	佐藤
11月13日	16	症例検討【変形性膝関節症】	評価の流れに沿って、情報収集・観察・検査測定・解釈・障害構造まとめ・問題点抽出・ゴール設定・治療立案を行う	佐藤
11月20日	17	症例検討【変形性膝関節症】		佐藤
11月20日	18	症例検討【変形性膝関節症】		佐藤
11月27日	19	症例検討【変形性膝関節症】		佐藤
12月4日	20	症例検討【変形性膝関節症】		佐藤
12月11日	21	症例検討【変形性膝関節症】		佐藤
12月18日	22	国家試験問題の検討	過去の国家試験問題(実地問題・専門問題)	佐藤
12月25日	23	まとめと評価		佐藤
教科書 参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法Ⅰ、Ⅱ 標準整形外科学			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法各論Ⅴ（神経筋疾患）	専門分野(1単位)	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間（2時間 15回）		【時間帯】	14：30～15：10（他時間割参照）			
授業内容・目標	各神経筋疾患の病態、徴候、症状について学習し、臨床像をイメージできるようにする。						
前提知識	脳解剖、伝導路、神経生理						
【実施形態】	講義（○）	演習（ ）	実習（ ）				
到達目標	臨床・国家試験に必要な各神経筋疾患の病態、徴候、症状を理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90			10	
	実施時期		当科目終了時			平時	
	補足						
	関心・意欲					○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
	実践・表現		○			○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	パーキンソン病	パーキンソン病の病態、徴候、症状	渡辺
	2	パーキンソン病	パーキンソン病に対する理学療法①	渡辺
	3	パーキンソン病	パーキンソン病に対する理学療法②	渡辺
	4	不随意運動疾患	ハンチントン病、ジストニア、ジスキネジア、バリスム	渡辺
	5	運動失調	運動失調の病態、症状、治療	渡辺
	6	運動失調	運動失調に対する理学療法①	渡辺
	7	運動失調	運動失調に対する理学療法②	渡辺
	8	運動失調	運動失調に対する理学療法②	渡辺
	9	多発性硬化症	多発性硬化症の病態、経過、症状、治療	渡辺
	10	筋萎縮性硬化症	筋萎縮性側索硬化症の病態、経過、症状、治療	渡辺
	11	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの病態、経過、症状、治療	渡辺
	12	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群の病態、経過、症状、治療	渡辺
	13	糖尿病性ニューロパチー、シャルコーマリートウス	糖尿病性ニューロパチー、シャルコーマリートウス病の病態、経過、症状、治療	渡辺
	14	重症筋無力症、周期性四肢麻痺	重症筋無力症、周期性四肢麻痺の病態、経過、症状、治療	渡辺
	15	まとめと評価	まとめと評価	渡辺
教科書 参考書	15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法Ⅱ、病気が見える(脳・神経)			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法各論Ⅶ(呼吸循環代謝)	専門分野(2単位)	【講師名】	吉田 望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	呼吸・循環・代謝の生理学的知識を再確認する。 内部障害の理学療法についての評価が実施できる。 リスク管理をはじめとした基本的内部障害運動療法を実践できるようになる						
前提知識	呼吸・循環・代謝の解剖・生理						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	呼吸・循環・代謝の生理が説明できる。 内部障害理学療法の評価が選択・実践できる。 評価から得られた結果を解釈し、運動療法を処方できる						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	5%	90%		5%		
	実施時期	常時	23回		随時		
	補足	授業態度					
	関心・意欲	○	○		○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○				
実践・表現	○						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	呼吸器の解剖・生理の復習①	気管・肺の解剖 正常呼吸に働く筋 呼吸の生理学的調整	吉田
	2	呼吸器の解剖・生理の復習②	ガス交換 酸塩基平衡 酸素遊離曲線	吉田
	3	呼吸器疾患の評価	【演習】視診・触診・胸郭拡張差・聴診 呼吸音(湿性ラ音・乾性ラ音等)	吉田
	4	呼吸器疾患の評価	【演習】スパイロメーター実習 フローボリューム曲線	吉田
	5	呼吸器疾患の評価	【演習】スパイロメーター実習 フローボリューム曲線	吉田
	6	呼吸器の代表的疾患	拘束性障害・閉塞性障害 COPD、肺線維症、間質性肺炎、喘息、胸部外科術後	吉田
	7	呼吸器疾患の理学療法	【演習】体位ドレナージ、呼吸助法、排痰促進法	吉田
	8	呼吸器疾患の理学療法	人工呼吸器管理 ウイニング HOT 痰の吸引	吉田
	9	呼吸器疾患の理学療法	呼吸器疾患の運動療法・生活指導	吉田
	10	循環器の解剖・生理の復習①	心臓の解剖 刺激伝導系 循環器の生理学的調節	吉田
	11	循環器の解剖・生理の復習②	心電図の診かた 異常心電図	吉田
	12	循環器の解剖・生理の復習③	心電図の診かた 異常心電図	吉田
	13	循環器疾患の評価	心音聴取	吉田
	14	循環器疾患の評価	【演習】運動負荷試験(CPX、6MD)	吉田
	15	循環器の代表的な疾患とその治療	虚血性心疾患、弁膜症 右心不全と左心不全	吉田
	16	循環器の代表的な疾患とその治療	大動脈疾患 閉塞性動脈硬化症	吉田
	17	心筋梗塞後の理学療法	心筋梗塞後の急性期プログラム リスク管理(BLS)	吉田
	18	呼吸器・循環器のまとめ	胸部レントゲン・胸部CTの診かた	吉田
	19	内部障害の症例検討	情報収集 検査データの解釈 問題点抽出 治療プログラムの立案	吉田
	20	内部障害の症例検討		吉田
	21	糖尿病について	糖尿病の病態・合併症・検査 糖尿病の理学療法	吉田
	22	糖尿病の理学療法	運動処方 エネルギー消費量 MET	吉田
	23	まとめと評価	知識の確認	吉田
教科書 参考書	ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版 病気が見える「呼吸器」「循環器」 その他解剖学・生理学			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法評価法Ⅳ	専門分野(2単位)	【講師名】	小畑 陽平(理学療法士)、渡辺 似望(理学療法士)			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	理学療法を行う際に必要な評価法取得する。対象者に必要な評価法を理由をもって列挙できる。想定した対象に対して正しく評価ができる。評価結果をもとに分析・統合・解釈ができる。						
前提知識	協調運動、痛み、脳神経、伝導路、評価実習時に習得すべき全知識						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	対象者に対する的確に評価し、評価結果をもとに分析・統合・解釈ができる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10		90			
	実施時期	平時		当科目終了時			
	補足						
	関心・意欲	○		○			
	知識・理解			○			
	思考・推論	○		○			
実践・表現	○		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	自己概念	自己洞察、性格、長所、短所	渡辺
	2	性格と傾向		渡辺
	3	協調性検査①	運動失調、共同運動不能、共同運動障害、ジスметрия(測定障害)、変換運動障害 筋緊張低下、振戦	渡辺
	4	協調性検査②		渡辺
	5	高次脳機能検査	失認、失行、失語、認知症、意識障害	渡辺
	6	姿勢反射検査①	脊髄レベル・脳幹レベル・中脳レベル・脳皮質レベルの姿勢反射	渡辺
	7	姿勢反射検査②		渡辺
	8	疼痛検査	VAS(Visual Analogue Scale)、10段階ペインスケール、表情評価スケール等	渡辺
	9	脳神経検査	嗅神経、視神経、動眼・滑車・外転神経、三叉神経、顔面神経、内耳神経 舌咽・迷走神経、副神経、舌下神経	渡辺
	10	理学療法評価①	理学療法評価の流れと実際	小畑
	11	理学療法評価②		小畑
	12	パーキンソン病の評価①	機能評価(Hoehn&Yahr、姿勢、関節可動域、筋力、持久力)	小畑
	13	パーキンソン病の評価②	機能評価(Hoehn&Yahr、姿勢、関節可動域、筋力、持久力)	小畑
	14	パーキンソン病の評価③	活動評価(バランス能力、起居動作、ADL)	小畑
	15	パーキンソン病の評価④	家屋状況、家庭環境、Hope	小畑
	16	パーキンソン病の評価⑤	ICF構造、問題点の整理	小畑
	17	パーキンソン病の評価⑥	ICF構造、問題点の整理	小畑
	18	整形疾患の評価①	体幹部疾患検査、頸部疾患、胸郭出口症候群、腰部疾患、仙腸関節疾患	小畑
	19	整形疾患の評価②	肩関節疾患、肘関節疾患、手関節疾患、指節関節疾患	小畑
	20	整形疾患の評価③	股関節疾患、膝関節疾患、足関節疾患	小畑
	21	整形疾患の評価④	その他の疾患検査	小畑
	22	実技練習	これまでの総復習、実演	小畑
	23	まとめと評価	実技試験	小畑
教科書	理学療法評価学 改訂第5版			
参考書	病気が見える(脳・神経)			
授業に必要な物	実技・演習では動きやすい格好をしてくる。指示があった際には、ケーシー(白衣)を着用する事。			
備考	授業で学習した実技に関しては、授業以外でも積極的に復習・練習を行う事が望ましい。			

【科目名】	臨床検査概論	専門基礎(1単位)	【講師名】	加藤 敏夫			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	10:40 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	臨床検査の目的及び疾患や業務との関連性を理解する、内科学と関連し理解を深める。						
前提知識	生理学の知識						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	検査情報および疾患との関連性による医療安全対策、院内感染防止対策等を理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	臨床検査の種類と目的、EBMと臨床検査について、臨床検査の基準値関連について	検査とは、EBMと検査	加藤
	2	体液の種類と臨床検査、血液・造血器疾患の検査、悪性新生物の病理検査	貧血、関節リウマチ、膠原病	加藤
	3	輸血医療(検査を中心に)について、体液の恒常性と臨床検査、呼吸器疾患の検査	輸血検査、呼吸器疾患検査	加藤
	4	免疫系の異常と臨床検査、感染症(微生物)の検査、院内感染防止対策について	感染症、免疫血清検査	加藤
	5	糖、蛋白及び脂質代謝異常と臨床検査、内分泌疾患の検査、腎・尿路疾患の検査	糖尿病、甲状腺機能低下症	加藤
	6	肝・胆道及び膵疾患の検査、高血圧及び動脈硬化症の検査	慢性肝炎、肝硬変、原発性肝がん、高血圧	加藤
	7	循環器疾患の検査、運動器(筋)・神経系の検査	急性心筋梗塞、心不全、神経変性疾患	加藤
	8	まとめと評価	各種検査について理解する	加藤
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	エビデンスに基づいた検査データ活用マニュアル【第2版】下 正宗 学研メディカル秀潤社 標準理学療法学・作業療法学 生理学【第4版】 医学書院			
授業に必要な物	プロジェクター、PC、PCマウス、マイク			
備考				

【科目名】	臨床実習 I	専門分野 (3単位)	【講師名】 実習担当教員 高村真司(理学療法士)				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】 第2学年 理学療法学科				
【時間数】	160時間		【時間帯】				
授業内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の臨床場面において、理学療法学生として相応しいコミュニケーションがとれる。 ・対象者を尊重し、共感的態度をもって、良い人間関係をつくるよう意識し行動する。 ・実習指導者と十分なコミュニケーションを保ち、求められる態度を理解し責任を持って行動する。 ・実習指導者の指導のもと、観察および検査・測定を実際に実施し、初期評価を通して対象者の全体像を把握し、基本的な知識・技術を向上させる。 						
前提知識	2年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 2年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 2年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(○)				
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
2月17日 ～ 3月13日 4週間 (20日間)	1	臨床実習 I		
	2			
	3			
	4			
教科書 参考書	2年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	臨床神経学Ⅱ	専門基礎(1単位)	【講師名】	長澤治夫			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	疫学、病理学、治療学という3つの側面から、神経内科学とその関連領域や専門診療科目との関係を理解する。						
前提知識	脳解剖学、病理学、生理学の全般知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	疫学、病理学、治療学という3つの側面から、神経内科学とその関連領域や専門診療科目との関係を理解し、患者を評価しリハビリを実施する知識を身に付ける。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	脳血管障害(1)	脳血管障害総論	長澤
	2	脳血管障害(2)	脳出血、くも膜下出血など	長澤
	3	脳血管障害(3)	閉塞性脳血管障害	長澤
	4	脳血管障害(4)	脳血管障害の治療	長澤
	5	変性疾患(1)	中枢神経系の変性疾患総論、認知症(アルツハイマー病など)	長澤
	6	変性疾患(2)	基底核変性疾患(パーキンソン病など)	長澤
	7	変性疾患(3)	脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患	長澤
	8	中枢神経系の感染症	髄膜炎、脳炎など	長澤
	9	脱髄疾患	多発性硬化症	長澤
	10	末梢神経疾患(1)	遺伝性末梢神経疾患	長澤
	11	末梢神経疾患(2)	多発性ニューロパチー	長澤
	12	筋疾患(1)	進行性筋ジストロフィー	長澤
	13	筋疾患(2)	多発性筋炎	長澤
	14	脳神経外科領域の疾患	脳腫瘍、脳外傷	長澤
	15	まとめと評価	各神経症候学について、神経心理学・神経学的検査法について	長澤
教科書 参考書	神経内科学テキスト 改定第4版 南江堂 ベッドサイドの神経の診方 改訂18版 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				